



校長室だより

おおさか しりつたかどのしょうがくこう
大阪市立高殿小学校

06-6951-3344

歳時記：7月に入った途端、雨続きの予報となりました。6月は晴れの日が多かったので、今年の梅雨はどうなったのかなど、心配していました。大雨でも困りますが、空梅雨では水不足の夏となりますから…。子どもの頃は7月になると朝5時に起きて、近くの谷川にウナギの仕掛けを見に行ったり、小学校へ通う4 Kmの山道ではクヌギの木に樹液を吸いにきたクワガタ虫を取ったりの日々でした。林間学習が楽しみです。校長 梅原直人

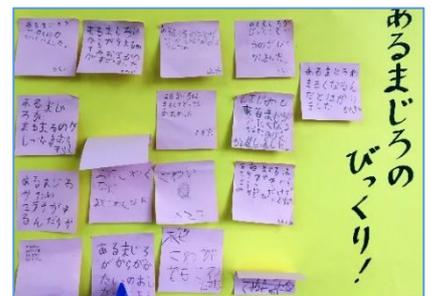
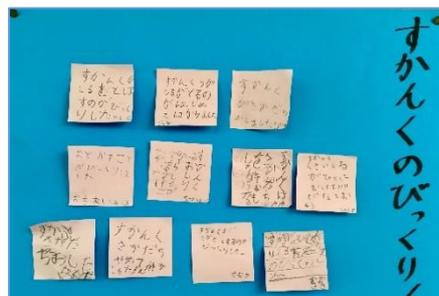
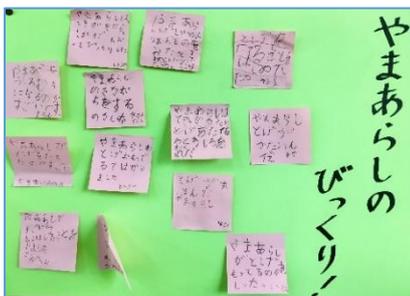
7月は、一学期の学習の総まとめの時期です。

7月に入りました。あと少しで「一学期の学び」が完成します。4月に今年の目標を決めましたね。今の時点で、どのくらい目標に近づきましたか？4月の自分と、今の自分を比べましょう。できるようになったことがたくさん見つかるはずですよ。例えば、漢字です。たかどの漢字検定に向けて、たくさん勉強しましたね。学年で習う漢字、きっとたくさん書けるようになったと思います。このようにして一学期の振り返りをして、終業式までに、がんばったことや、できるようになったことを、どんどん見つけてくださいね。

付箋を活用した言語活動について (特色ある教育)

今年から「カラー付箋を使って一文を書き出す学習」をスタートさせました。付箋は「ハート型」「吹き出し型」の他に、7.5cm角のものがあります。

授業の中で「考えたこと、わかったことを書きましょう。」「友だちの素晴らしいところ、見習いたいところを書きましょう。」と学習のふりかえりをしたり、終学活で友だちの「いいところ見つけ」をしたりして、考えを書き出す力を高めています。たとえばペア学習で、「お隣さんのノートを見て『いいところ』を見つけ、付箋に書きましょう。」では、「きれいに書けています。」「考え方がすごいです。」というように表現して付箋に書くことができました。そしてお互いに書いた付箋を交換してノートに貼ります。付箋の交換場面では、「ノートの…ここに……と書いてあって、この考え方がすごいと思った。」とか「ノートに自分の考え方を、わかりやすくまとめているね。見習いたい。」というように、やさしさと笑顔があふれています。文章の記述力だけでなく、付箋の活用を通じて、学級の中で、共感的な人間関係が育っており、たいへん素敵だと感じます。



写真は、1年生国語科「どう やって みを まもるのかな」の付箋です。子どもたちは学習した動物の特徴を付箋に書きだしました。教室に掲示された友だちの付箋を見て、さらに学びが深まります。付箋への一筆書き出しの活動を通じて、コロナ禍においても交流活動を効果的に進めることができます。

